

佐野高と中 竹熊さん、石原さん「次は優勝を」

高校、中学最後の大会で優秀な成績を収めた竹熊さん（右）と石原さん（左）
佐野高



将棋全国大会 好成績相次ぐ

佐野高と同付属中の囲碁将棋部員が今夏、将棋の全国大会で準優勝、3位と相次いで好成績を収めた。コロナ禍で多くの

試合や稽古が中止となる中、地道に努力して勝ち進んだ。それぞれ次のステージを見据え、「全国大会で優勝したい」と意気込んでいる。

高校3年の竹熊悠太

打つ手がほぼ封じられあせり、敗れた。ただ、これまでで最高の成績に「高校最後のレベルの高い大会で準優勝できて、とてもうれしい」と笑顔を見せる。

顧問の青山均教諭は「コロナ禍で試合がなくなるなど悔しい気持ちがあったと思うが、仲間と切磋琢磨していた」と目を細める。

中学3年の石原燈真さんは、8月3、4の両日、山形県大童市で開かれた第43回全国中学生選抜将棋大会に出場し、3位になった。3位決定戦では劣勢が続いて負けを意識する場面があったが、「勝負どころ」を見極めて反撃に転じた。

部活では部長を務め、藤井聡太王位に憧れ入部する部員に丁寧に教えた。高校でも将棋を続ける予定で、先輩の快挙に重圧はあるが「全国大会で優勝したい」と意欲を見せる。

竹熊さんは、後輩の活躍を頼もしく思うと同時に新たな目標を掲げ「大学でも将棋を続け優勝したい」と話している。

（藤田りか）

中高生2人が 上位入賞を報告

将棋の全国大会

【足利】将棋の全国大会で上位となった、いずれも市在住の佐野高3年竹熊^{たけくま}柾さん（17）Ⅱ写真右から2人目、佐野高付属中3年石原^{いしはら}橙真さん（14）Ⅱ同年4人目Ⅱが8日、早川^{はやかわ}尚秀^{なほひで}市長を敬訪問した。

竹熊さんは第35回全国高校将棋竜王戦（福岡市、8月）で準優勝、石原さんは第43回全国中学選抜将棋選手権大会（山形県天童市、同月）男子の部で3位となった。

結果について2人とも「うれしい」と報告。早川市長が今後の目標を尋ねる

と、竹熊さんは「アマチュア県大会で優勝したい」、石原さんは「来年から高校生。高校竜王戦に出場し、（竹熊さんの）成績を超えたい」と抱負を述べた。

